泥濃式推進工法編　2021年版　正誤表

改訂履歴	修正日	修正ページ等
	2021/8/25	181、195　※ダウンロードデータのみ192，193
	2021/11/2	143
	2021/12/7	163
	2024/6/13	178,179
	2025/12/11	160,161

正誤表箇所 ページ	項番	図表等	誤	正
	第2章　積算	表2.5－14（1）　標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間	稼働時間の修正　※ダウンロードデータを修正済 土質区分：粘性土・砂質土（1）	土質区分：粘性土・砂質土（1）

誤

機械の種類		800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1650	1800	2000	2200
掘進機		2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4
電動ホイスト		1.6	1.6	1.7	1.8	2.0	2.2	2.3	2.4	2.3	2.2	2.6
門型クレーン	(本体)	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.2	4.1	4.3
多段ジャッキ	(元押)	0.9	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
ダウトボンブ	(滑材)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
ダウトミキサ	(滑材)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ミキシングプラント	(滑材)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
ダウトボンブ	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ダウトミキサ	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ミキシングプラント	(裏込)	2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4

正

機械の種類		800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1650	1800	2000	2200
掘進機		2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4
電動ホイスト		1.6	1.6	1.7	1.8	2.0	2.2	2.3	2.4	2.3	2.2	2.6
門型クレーン	(本体)	0.8	0.8	0.9	1.0	1.0	1.2	1.3	1.3	1.2	1.2	1.5
多段ジャッキ	(元押)	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3	4.4	4.4	4.3	4.2	4.1	4.3
ダウトボンブ	(滑材)	0.9	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
ダウトミキサ	(滑材)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
ミキシングプラント	(滑材)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ダウトボンブ	(裏込)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
ダウトミキサ	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ミキシングプラント	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8

ページ	項番	図表等	誤	正
143	第2章　積算	表2.5－14（2）　標準機械設備1日(8時間)当り稼働時間	稼働時間の修正　※ダウンロードデータを修正済 土質区分：粘性土・砂質土（2）、岩盤（1）	土質区分：粘性土・砂質土（2）、岩盤（1）

誤

機械の種類		800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1650	1800	2000	2200
掘進機		5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.3	5.2
電動ホイスト		0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.3
門型クレーン	(本体)	6.0	6.0	6.1	6.1	6.1	6.1	6.2	6.2	6.1	6.1	6.2
多段ジャッキ	(元押)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
ダウトボンブ	(滑材)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
ダウトミキサ	(滑材)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ミキシングプラント	(滑材)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
ダウトボンブ	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ダウトミキサ	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ミキシングプラント	(裏込)	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.3	5.2

正

機械の種類		800	900	1000	1100	1200	1350	1500	1650	1800	2000	2200
掘進機		5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.3	5.2
電動ホイスト		0.9	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	1.1	1.2	1.2	1.1	1.3
門型クレーン	(本体)	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7
多段ジャッキ	(元押)	6.0	6.0	6.1	6.1	6.1	6.1	6.2	6.2	6.1	6.1	6.2
ダウトボンブ	(滑材)	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
ダウトミキサ	(滑材)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
ミキシングプラント	(滑材)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ダウトボンブ	(裏込)	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
ダウトミキサ	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8
ミキシングプラント	(裏込)	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8	6.8

ページ	項番	図表等	誤	正
163	第2章　積算	表2.5－32　立坑および支圧壁形状の例（参考）	呼び径1000、1650、2200の幅の修正　※ダウンロードデータを修正 1000　鋼矢板幅：3.2　支圧壁幅：3.2 1650　鋼矢板幅：4.0　支圧壁幅：4.0 2200　鋼矢板幅：4.8　支圧壁幅：4.8	呼び径1000、1650、2200の幅の修正　※ダウンロードデータを修正 1000　鋼矢板幅：3.6　支圧壁幅：3.6 1650　鋼矢板幅：4.4　支圧壁幅：4.4 2200　鋼矢板幅：5.2　支圧壁幅：5.2
178	第2章　積算	5.4.6 掘進機発進用受台	補強板、ボルト・ナット数量が、諸雑費と重複のため、鋼材質量を訂正	

誤

5.4.6　掘進機発進用受台

C－10　掘進機発進用受台

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
掘進機発進用受台工		箇所				D－10－1
計						

D－10－1　掘進機発進用受台設置撤去工

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
鋼材賃料		式	1			表2.5－45
諸雑費		式	1			備考3
鋼材設置撤去工		式				土木工事標準歩掛
計						

備考　1．掘進機発進用受台の設置質量は表2.5－45を標準とする。
2．損料日数は、発進用受台を管推進台としても使用するため、設置開始日から、推進完了後撤去するまでの日数とする。
3．諸雑費は補強鋼板とし、鋼材資料の○％を計上する。
4．鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛（仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・起し設置、撤去）」による。
5．発進用受台にバッキング防止用対策（管固定金物等）を施す場合は、別途計上する。

表2.5－45　発進用受台設置質量（参考）

（1箇所当り）

呼び径	部材	質量（t）
800	定規　H－200×200 枕木　H－200×200	
900	定規　H－250×250 枕木　H－200×200	
1000		
1100		
1200		
1350	定規　H－300×300 枕木　H－250×250	
1500		
1650		
1800	定規　H－350×350 枕木　H－350×350	
2000		
2200		

備考　1．定規材、枕木材の質量には、補強板やボルトナットなどの副部材を含む。
2．定規材、枕木材の質量は、上載する荷重（掘進機等）により補強が必要な場合には増加する。

正

5.4.6　掘進機発進用受台

C－10　掘進機発進用受台

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
掘進機発進用受台工		箇所				D－10－1
計						

D－10－1　掘進機発進用受台設置撤去工

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
鋼材賃料		式	1			表2.5－45
諸雑費		式	1			備考3
鋼材設置撤去工		1				土木工事標準歩掛
計						

備考　1．掘進機発進用受台の設置質量は表2.5－45を標準とする。
2．損料日数は、発進用受台を管推進台としても使用するため、設置開始日から、推進完了後撤去するまでの日数とする。
3．諸雑費は補強鋼板およびボルト・ナットの費用とし、鋼材資料の○％を計上する。
4．鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛（仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・起し設置、撤去）」による。
5．発進用受台にバッキング防止用対策（管固定金物等）を施す場合は、別途計上する。

表2.5－45　発進用受台設置質量（参考）

（1箇所当り）

呼び径	部材	質量（t）
800	定規　H－200×200 枕木　H－200×200	0.80
900	定規　H－250×250 枕木　H－200×200	0.95
1000		
1100		
1200		
1350	定規　H－300×300 枕木　H－250×250	1.64
1500		
1650		
1800	定規　H－350×350 枕木　H－350×350	3.38
2000		
2200		

備考　1．定規材、枕木材の質量には、補強板やボルトナットなどの副部材を含む。
1．定規材、枕木材の質量は、上載する荷重（掘進機等）により補強が必要な場合には増加する。

ページ	項番	図表等	誤	正
		表2.5-45	上記により、ダウンロードデータを訂正	

誤

5.4.6　掘進機発進用受台

C－10　掘進機発進用受台

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
掘進機発進用受台工		箇所				D－10－1
計						

D－10－1　掘進機発進用受台設置撤去工

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
鋼材損料		式	1			表2.5－45
諸雑費		式	1			備考3
鋼材設置撤去工		1				土木工事標準歩掛
計						

備考　1．掘進機発進用受台の設置質量は表2.5－45を標準とする。
2．損料日数は、発進用受台を管推進台としても使用するため、設置開始日から、推進完了後撤去するまでの日数とする。
3．諸雑費は補強鋼板とし、鋼材資料の15％を計上する。
4．鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛（仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・起し設置、撤去）」による。
5．発進用受台にバッキング防止用対策（管固定金物等）を施す場合は、別途計上する。

表2.5－45　発進用受台設置重量（参考）

（1箇所当り）

呼び径	部材	質量（t）
800	定規　H－200×200 枕木　H－200×200	1.00
900	定規　H－250×250 枕木　H－200×200	1.19
1000		
1100		
1200		
1350	定規　H－300×300 枕木　H－250×250	2.05
1500		
1650		
1800	定規　H－350×350 枕木　H－350×350	4.22
2000		
2200		

備考　1．定規材、枕木材の質量には、補強板やボルトナットなどの副部材を含む。
2．定規材、枕木材の質量は、上載する荷重（掘進機等）により補強が必要な場合には増加する。

正

5.4.6　掘進機発進用受台

C－10　掘進機発進用受台

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
掘進機発進用受台工		箇所				D－10－1
計						

D－10－1　掘進機発進用受台設置撤去工

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
鋼材損料		式	1			表2.5－45
諸雑費		式	1			備考3
鋼材設置撤去工		1				土木工事標準歩掛
計						

備考　1．掘進機発進用受台の設置質量は表2.5－45を標準とする。
2．損料日数は、発進用受台を管推進台としても使用するため、設置開始日から、推進完了後撤去するまでの日数とする。
3．諸雑費は補強鋼板およびボルト・ナットの費用とし、鋼材資料の○％を計上する。
4．鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛（仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・起し設置、撤去）」による。
5．発進用受台にバッキング防止用対策（管固定金物等）を施す場合は、別途計上する。

表2.5－45　発進用受台設置重量（参考）

（1箇所当り）

呼び径	部材	質量（t）
800	定規　H－200×200 枕木　H－200×200	0.80
900	定規　H－250×250 枕木　H－200×200	0.95
1000		
1100		
1200		
1350	定規　H－300×300 枕木　H－250×250	1.64
1500		
1650		
1800	定規　H－350×350 枕木　H－350×350	3.38
2000		
2200		

備考　1．定規材、枕木材の質量には、補強板やボルトナットなどの副部材を含む。
1．定規材、枕木材の質量は、上載する荷重（掘進機等）により補強が必要な場合には増加する。

ページ	項番	図表等	誤	正
179	第2章　積算	5.4.7 掘進機引上用受台	補強板、ボルト・ナット数量が、諸雑費と重複のため、鋼材質量を訂正	

誤

5.4.7　掘進機引上用受台

C－11　掘進機引上用受台

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
掘進機引上用受台設置撤去工		箇所				D－11－1
計						

D－11－1　掘進機引上用受台設置撤去工

（1箇所当り）

種目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘要
鋼材賃料		式	1			表2.5－46
鋼材設置撤去工		1				土木工事標準歩掛
諸雑費		式	1			備考3
計						

備考　1．引上げ用受台の設置質量は表2.5－46を標準とする。
2．損料日数は、受台設置開始日から、掘進機引上げ後、受台を撤去するまでの日数とする。
3．諸雑費は補強鋼板とし、鋼材資料の○％を計上する。
4．鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛（仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・起し設置、撤去）」による。

表2.5－46　引上用受台設置質量（参考）

（1箇所当り）

呼び径	受台部材	受台鋼材質量(t)
800	定規　H－300×300 枕木　H－300×300	
900		
1000		
1100		
1200		
1350		
1500		
1650		
1800		
2000		
2200		

備考　1．定規材、枕木材の質量には、補強板やボルトナットなどの副部材を含む。
2．定規材、枕木材の質量は、上載する荷重（掘進機等）により補強が必要な場合には増加する。

正

5.4.7□掘進機引上用受台

C－11□掘進機引上用受台

（1箇所当り）

種□□□目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘□□要
掘進機引上用受台設置撤去工		箇所				D－11－1
計						

D－11－1□掘進機引上用受台設置撤去工

（1箇所当り）

種□□□目	形状寸法	単位	数量	単価（円）	金額（円）	摘□□要
鋼材賃料		式	1			表2.5－46
鋼材設置撤去工		1				土木工事標準歩掛
諸雑費		式	1			備考3
計						

備考□1．引上げ用受台の設置質量は表2.5－46を標準とする。
2．損料日数は、受台設置開始日から、掘進機引上げ後、受台を撤去するまでの日数とする。
3．諸雑費は補強鋼板およびボルト・ナットの費用とし、鋼材資料の○％を計上する。
4．鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛（仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・起し設置、撤去）」による。

表2.5－46□引上用受台設置質量（参考）

（1箇所当り）

呼び径	受台部材	受台鋼材質量(t)
800	定規□H－300×300 枕木□H－300×300	
900		
1000		
1100		
1200		
1350		
1500		
1650		
1800		
2000		
2200		

備考□1．定規材、枕木材の質量には、補強板やボルト・ナットなどの副部材を含む。
1．定規材、枕木材の質量は、上載する荷重（掘進機等）により補強が必要な場合には増加する。

泥濃式推進工法編　2021年版　正誤表

改訂履歴	修正日	修正ページ等
	2021/8/25	181、195　※ダウンロードデータのみ192，193
	2021/11/2	143
	2021/12/7	163
	2024/6/13	178,179
	2025/12/11	160,161

正誤表箇所 ページ	項番	図表等	誤	正
		表2.5-46	上記により、ダウンロードデータを訂正 C－11　掘進機引上用受台 （1箇所当り） 種目 / 形状寸法 / 単位 / 数量 / 単価（円） / 金額（円） / 摘要 掘進機引上用受台設置撤去工 / 箇所 / D－11－1 計 D－11－1　掘進機引上用受台設置撤去工 （1箇所当り） 種目 / 形状寸法 / 単位 / 数量 / 単価（円） / 金額（円） / 摘要 鋼材損料 / 式 / 1 / 表2.5－46 鋼材設置撤去工 / t / 土木工事標準歩掛 諸雑費 / 式 / 1 / 備考3 計 備考　1. 引上げ用受台の設置質量は表2.5－56を標準とする。 2. 損料日数は、受台設置開始日から、掘進機引上げ後、受台を撤去するまでの日数とする。 3. 諸雑費は補修費およびボルト・ナットの費用とし、鋼材損料の15%を計上する。。 4. 鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛(仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・腹起し設置、撤去)」による。 表2.5－46　引上用受台設置質量（参考） （1箇所当り） 呼び径 / 部材 / 質量（t） 800 / 900 / 1000 / 1100 / 1200 / 1350 / 1500 / 1650 / 1800 / 2000 / 2200 定規　H－300×300 杭木　H－300×300 1.63 2.08 2.56	C－11　掘進機引上用受台 （1箇所当り） 種目 / 形状寸法 / 単位 / 数量 / 単価（円） / 金額（円） / 摘要 掘進機引上用受台設置撤去工 / 箇所 / D－11－1 計 D－11－1　掘進機引上用受台設置撤去工 （1箇所当り） 種目 / 形状寸法 / 単位 / 数量 / 単価（円） / 金額（円） / 摘要 鋼材損料 / 式 / 1 / 表2.5－46 鋼材設置撤去工 / t / 土木工事標準歩掛 諸雑費 / 式 / 1 / 備考3 計 備考　1. 引上げ用受台の設置質量は表2.5－56を標準とする。 2. 損料日数は、受台設置開始日から、掘進機引上げ後、受台を撤去するまでの日数とする。 3. 諸雑費は補修費およびボルト・ナットの費用とし、鋼材損料の15%を計上する。。 4. 鋼材設置工、撤去工は、「土木標準歩掛(仮設工－仮設材設置撤去工－切梁・腹起し設置、撤去)」による。 表2.5－46　引上用受台設置質量（参考） （1箇所当り） 呼び径 / 部材 / 質量（t） 800 / 900 / 1000 / 1100 / 1200 / 1350 / 1500 / 1650 / 1800 / 2000 / 2200 定規　H－300×300 杭木　H－300×300 1.30 1.87 2.05
181	第2章　積算	表2.5-48　掘進機据付工クレーン規格（参考）	呼び径区分欄訂正 800～1000	800～1100
192、193、194	第2章　積算	※ダウンロードデータのみ ・D-24-1　高濃度泥水注入設備項 ・表2.5-55　高濃度泥水注入設備工歩掛 ・D-24-2　吸泥排土設備工 ・表2.5-56　吸泥排土設備工歩掛 ・D-24-3　排土貯留槽設置撤去工 ・D-2.5-57　排土貯留槽設置撤去工歩掛	表単位訂正 （1箇所当り）	（１基当り）
192	第2章　積算	※ダウンロードデータのみ ・D-24-1　高濃度泥水注入設備項	クレーン規格 排出ガス対策型（第１次基準値）	排出ガス対策型（第２次基準値）
195	第2章　積算	D-25-1　注入設備工	ラフテレーンクレーン摘要欄追記 表2.5-59	表2.5-59 排出ガス対策型（第二次基準値）
160	第2章　積算	表2.5-31（2）	ダウンロードデータを訂正 **表2.5－31（2）　目地モルタル工歩掛（曲線推進　R＝100m）** （100箇所当り） 呼び径 / （㎥） / （人） / （人） / 摘要 800 / 0.36 / 4.7 / 47.3 900 / 0.45 / 5.4 / 53.7 1000 / 0.57 / 6.0 / 60.3 1100 / 0.72 / 6.6 / 67.0 1200 / 0.90 / 7.2 / 73.8	**表2.5－31（2）　目地モルタル工歩掛（曲線推進　R＝100m）** （100箇所当り） 種目 / 呼び径 / モルタル工（㎥） / トンネル世話役（人） / トンネル作業員（人） / 摘要 800 / 0.36 / 4.7 / 47.3 900 / 0.45 / 5.4 / 53.7 1000 / 0.57 / 6.0 / 60.3 1100 / 0.67 / 6.6 / 67.0 1200 / 0.82 / 7.2 / 73.8
161	第2章　積算	表2.5-31（3）	ダウンロードデータを訂正 **表2.5－31（3）　目地モルタル工歩掛（曲線推進　R＝200m）** （100箇所当り） 種目 / 呼び径 / モルタル工（㎥） / トンネル世話役（人） / トンネル作業員（人） / 摘要 800 / 0.29 / 4.7 / 46.6 900 / 0.35 / 5.3 / 52.7 1000 / 0.43 / 5.9 / 58.9 1100 / 0.50 / 6.5 / 65.0 1200 / 0.60 / 7.2 / 71.6 1350 / 0.73 / 8.1 / 78.9 1500 / 0.89 / 8.9 / 87.8 1650 / 1.09 / 9.9 / 99.0 1800 / 1.33 / 11.1 / 113.2 2000 / 1.69 / 12.5 / 127.2 2200 / 2.09 / 14.1 / 142.3	**表2.5－31（3）　目地モルタル工歩掛（曲線推進　R＝200m）** （100箇所当り） 種目 / 呼び径 / モルタル工（㎥） / トンネル世話役（人） / トンネル作業員（人） / 摘要 800 / 0.29 / 4.7 / 46.6 900 / 0.35 / 5.3 / 52.7 1000 / 0.43 / 5.9 / 58.9 1100 / 0.50 / 6.5 / 65.0 1200 / 0.60 / 7.2 / 71.6 1350 / 0.73 / 8.1 / 78.9 1500 / 0.93 / 8.9 / 87.8 1650 / 1.12 / 9.9 / 99.0 1800 / 1.34 / 11.1 / 113.2 2000 / 1.69 / 12.5 / 127.2 2200 / 2.10 / 14.1 / 142.3